

平成 21 年 2 月 吉日

小規模企業共済契約者の事業承継に関するアンケート調査について
〈現在加入されているお客様へ〉

独立行政法人 中小企業基盤整備機構
経営安定再生部

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より小規模企業共済制度をご愛顧賜り、誠にありがとうございます。

ご加入いただいております小規模企業共済制度は、制度発足後43年が経過いたしました。この間順調に運営され、平成19年度末現在の加入累計件数は480万件を超え、在籍件数も170万件に至っております。

一方、共済金は平成19年度において約5万人の方々にお支払いしており、事業主の退職金としてお役立ていただいているものと存じます。

さて、当機構では、本制度をより多くの方にご利用いただくとともに、制度の一層の充実を図るため、本制度にご加入いただいているお客様を対象に、「小規模企業共済契約者の事業承継に関するアンケート調査」を実施することといたしました。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、今回アンケートの趣旨をご理解賜り、同封のアンケート調査票にご記入のうえ、同封の返信用封筒(切手貼付は不要です)にて3月6日(金)までにご投函いただきますようお願いいたします。

※返信用封筒には、アンケート調査票以外の書類を同封しないようお願いいたします。

今回の調査にあたって、発送・集計等業務において外部機関を活用しておりますが、当該機関と守秘義務契約を結び、機構の「個人情報の保護に関する取組みについて」に準じ取り扱っています。回答いただきました内容を個別に公表することや制度の充実等の目的以外で使用することはありません。なお、今回のアンケートにつきましては、契約者の皆さまのうち、個人事業主の方を無作為に抽出して対象としております。

皆さまのご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

敬具

○機構「個人情報の保護に関する取組みについて」

<http://www.smrj.go.jp/skyosai/customer/announce/005343.html>

〈調査内容に関するお問い合わせ先〉

独立行政法人中小企業基盤整備機構

経営安定再生部 経営安定企画課

担当 のぎもり 野木森・林

【電話】03 (3433) 8811 内線7907・7943

【調査票記入上のお願い】

- ◆ご回答はお客様ご本人にお願いいたします。
- ◆各質問について、あてはまる選択肢の数字に○、もしくは空欄に回答をご記入下さい。

I. お客様ご自身及び事業についてお伺いします

問1. お客様ご自身の現在の状況について、以下の表にご記入下さい(直接ご記入下さい)。

①事業主の年齢	_____ 歳
②事業主の性別	1. 男性 2. 女性
③業歴(事業主となってから現在まで)	約_____ 年

問2. 主たる業種は何ですか。以下よりお答え下さい。複数の事業を営んでいる場合には、「主たる事業」(一番収入の多い事業)の業種をお答え下さい(○は1つ)。

1. 農林業・漁業	6. 不動産取引・代理業	11. 医師・弁護士・税理士等の資格業 (具体的に： _____)
2. 建設業	7. 卸売業	12. その他のサービス業
3. 製造業	8. 小売業	13. それ以外の業種
4. 運輸業	9. 飲食業	
5. 不動産賃貸業	10. 宿泊業	

問3. 現在の従業員数(常用雇用者)は何名ですか。以下よりお答え下さい(○は1つ)。

1. 0人(事業主のみ)	3. 2人	5. 4人	7. 6~10人	9. 21人以上
2. 1人	4. 3人	6. 5人	8. 11~20人	

問4. 納税申告の方式は、青色申告・白色申告のどちらですか。以下よりお答え下さい(○は1つ)。
(確定申告を行う必要がない方でも、青色申告の届け出を提出されている場合は青色申告とお答え下さい)。

1. 青色申告	2. 白色申告
---------	---------

問5. 2007年の主たる事業からの収入(売上)はどの程度でしたか。以下よりお答え下さい(○は1つ)。

1. 500万円未満	3. 1,000万円~2,000万円未満	5. 3,000万円~5,000万円未満
2. 500万円~1,000万円未満	4. 2,000万円~3,000万円未満	6. 5,000万円以上

問6. 2007年の主たる事業からの所得(利益)はどの程度でしたか。以下よりお答え下さい(○は1つ)。

1. 赤字を計上	3. 100万円~300万円未満	5. 500万円~1,000万円未満
2. 0円~100万円未満	4. 300万円~500万円未満	6. 1,000万円以上

問7. 主たる事業以外の収入はありますか。以下よりお答え下さい(○は1つ)。

1. 主たる事業以外に収入がある	⇒問7-1へ
2. 主たる事業以外に収入はない	⇒問8へ

問7-1. 問7で、「1. 主たる事業以外に収入のある」と答えた方にお伺いします。

2007年の主たる事業以外の所得(利益)はどの程度でしたか。以下よりお答え下さい(○は1つ)。

(主たる事業以外の所得:他の事業による所得(利益)、他の事業者の従業員として得た給与所得など)

- | | | |
|---------------|------------------|--------------------|
| 1. 赤字を計上 | 3. 100万円～300万円未満 | 5. 500万円～1,000万円未満 |
| 2. 0円～100万円未満 | 4. 300万円～500万円未満 | 6. 1,000万円以上 |

問7-2. 「主たる事業以外の所得」の種類は何ですか。当てはまるもの全てをお答え下さい(複数回答可)。

- | | |
|------------------------|----------|
| 1. 事業所得(「主たる事業」とは別の事業) | 3. 不動産所得 |
| 2. 給与所得 | 4. その他 |

問7-3. 主たる事業以外の事業(従たる事業)の業種は何ですか。以下よりお答え下さい(○は1つ)。

- | | | |
|-----------|--------------|---------------------|
| 1. 農林業・漁業 | 6. 不動産取引・代理業 | 11. 医師・弁護士・税理士等の資格業 |
| 2. 建設業 | 7. 卸売業 | (具体的に:) |
| 3. 製造業 | 8. 小売業 | 12. その他のサービス業 |
| 4. 運輸業 | 9. 飲食業 | 13. それ以外の業種 |
| 5. 不動産賃貸業 | 10. 宿泊業 | |

問8. お客様と生計を共にしている方で、収入を得ている方はいますか。以下よりお答え下さい(○は1つ)。

- | | |
|-------------------------|-----------------|
| 1. 収入を得ている者がいる(_____人) | 2. 収入を得ている者はいない |
|-------------------------|-----------------|

問9. お客様は小規模企業共済制度以外の年金・共済制度にご加入ですか(国民年金を除きます)(複数回答可)。

- | |
|-----------------------------|
| 1. 加入していない |
| 2. 国民年金基金に加入している |
| 3. 個人型確定拠出年金に加入している |
| 4. 個人年金(生損保会社等の個人年金)に加入している |
| 5. その他(_____) |

問10. 従業員は事業所単位で年金・共済制度に加入していますか(複数回答可)。

- | |
|---------------------------------|
| 1. 従業員がいない |
| 2. 従業員はいるが、加入していない |
| 3. 厚生年金に加入している |
| 4. 中小企業退職金共済または特定業種退職金共済に加入している |
| 5. 適格退職年金に加入している |
| 6. その他(_____) |

Ⅱ.家族従業員についてお伺いします

問11. 家族従業員についてお伺いいたします。

- ①青色申告者で家族従業員がいる方は4ページ<青色申告の方>をご記入のあと、問12にお進み下さい。
- ②白色申告者で家族従業員がいる方は5ページ<白色申告の方>をご記入のあと、問12にお進み下さい。
- ③家族従業員がいない方は、問12にお進み下さい。

<青色申告の方>

家族従業員がいる方は、以下の表にご記入下さい。

家族従業員数計 _____人										
	通し 番号	続柄 (お客様から見た 関係)	年齢	共同経営者 (○を記入)	事業主の後継者		給与支払いの有無 (ある場合は一年間 のおおよその金額)	青色事業専従者 への該当の有無	大体の労働時間	主たる事業か 従たる事業か (複数事業を経営 している場合)
					後継者 (○を記入)	後継者の場合、他の 事業者での勤務経験 (有:○、無:×)				
うち、お客様と生計を同じにしている 家族従業員 (全員分の記入をお願いします)	①	1. 配偶者 2. 子供 3. 父母 4. その他	歳				1. 無給 2. 有給 (万円)	1. 有 2. 無	1. お客様と同じ 2. お客様以上 3. お客様の半分 4. ほんの少し	1. 主たる事業 2. 従たる事業
	②	1. 配偶者 2. 子供 3. 父母 4. その他	歳				1. 無給 2. 有給 (万円)	1. 有 2. 無	1. お客様と同じ 2. お客様以上 3. お客様の半分 4. ほんの少し	1. 主たる事業 2. 従たる事業
	③	1. 配偶者 2. 子供 3. 父母 4. その他	歳				1. 無給 2. 有給 (万円)	1. 有 2. 無	1. お客様と同じ 2. お客様以上 3. お客様の半分 4. ほんの少し	1. 主たる事業 2. 従たる事業
うち、お客様と生計を別にしている従 業員 (全員分の記入をお願いします)	④	1. 配偶者 2. 子供 3. 父母 4. その他	歳				1. 無給 2. 有給 (万円)		1. お客様と同じ 2. お客様以上 3. お客様の半分 4. ほんの少し	1. 主たる事業 2. 従たる事業
	⑤	1. 配偶者 2. 子供 3. 父母 4. その他	歳				1. 無給 2. 有給 (万円)		1. お客様と同じ 2. お客様以上 3. お客様の半分 4. ほんの少し	1. 主たる事業 2. 従たる事業
	⑥	1. 配偶者 2. 子供 3. 父母 4. その他	歳				1. 無給 2. 有給 (万円)		1. お客様と同じ 2. お客様以上 3. お客様の半分 4. ほんの少し	1. 主たる事業 2. 従たる事業

→ 表中に記載の方以外にお客様が後継者として考えている方がいらっしゃる場合、その方の年齢、具体的属性(サラリーマンなど他で働いている子供、家族以外の従業員、取引先のオーナー等)をご記入下さい。

年齢	才	属性

<白色申告の方>

家族従業員がいらっしゃる方は、以下の表にご記入下さい。

家族従業員数計 _____人									
	通し 番号	続柄 (お客様から見た関係)	年齢	共同経営者 (○を記入)	事業主の後継者		給与支払いの有無 (ある場合は一年間 のおおよその金額)	大体の労働時間	主たる事業か 従たる事業か (複数事業を経営 している場合)
					後継者 (○を記入)	後継者の場合、他の 事業者での勤務経験 (有:○、無:×)			
うち、お客様と生計を同じにしている 家族従業員 (全員分の記入をお願いします)	⑦	1. 配偶者 2. 子供 3. 父母 4. その他	歳					1. お客様と同じ 2. お客様以上 3. お客様の半分 4. ほんの少し	1. 主たる事業 2. 従たる事業
	⑧	1. 配偶者 2. 子供 3. 父母 4. その他	歳					1. お客様と同じ 2. お客様以上 3. お客様の半分 4. ほんの少し	1. 主たる事業 2. 従たる事業
	⑨	1. 配偶者 2. 子供 3. 父母 4. その他	歳					1. お客様と同じ 2. お客様以上 3. お客様の半分 4. ほんの少し	1. 主たる事業 2. 従たる事業
うち、お客様と生計を別にしている従 業員 (全員分の記入をお願いします)	⑩	1. 配偶者 2. 子供 3. 父母 4. その他	歳				1. 無給 2. 有給 (万円)	1. お客様と同じ 2. お客様以上 3. お客様の半分 4. ほんの少し	1. 主たる事業 2. 従たる事業
	⑪	1. 配偶者 2. 子供 3. 父母 4. その他	歳				1. 無給 2. 有給 (万円)	1. お客様と同じ 2. お客様以上 3. お客様の半分 4. ほんの少し	1. 主たる事業 2. 従たる事業
	⑫	1. 配偶者 2. 子供 3. 父母 4. その他	歳				1. 無給 2. 有給 (万円)	1. お客様と同じ 2. お客様以上 3. お客様の半分 4. ほんの少し	1. 主たる事業 2. 従たる事業

→ 表中に記載の方以外にお客様が後継者として考えている方がいらっしゃる場合、その方の年齢、具体的属性(サラリーマンなど他で働いている子供、家族以外の従業員、取引先のオーナー等)をご記入下さい。

年齢	才	属性

Ⅲ. 共同経営者の有無などについてお伺いします

(問 12 は、全員の方にお伺いします。)

問12. お客様の御家族で従業員の方、あるいは御家族ではないがお客様と一緒に働いている方の中に、共同で事業経営を行っている(共同経営者である)方はいますか。以下よりお答え下さい(○は1つ)。

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 共同経営者がいる ⇒問 12-1 へ | 2. 共同経営者はいない ⇒問 13 へ |
|-----------------------|----------------------|

問12-1. 問 12 で、「1. 共同経営者がいる」と答えた方にお伺いします。

その方を「共同経営者である」と考える理由は何ですか。当てはまるもの全てをお答え下さい(複数回答可)。

- | |
|---|
| 1. ご自身と共同経営者とが、同一の事業について、それぞれ事業所得や不動産所得を税務署に申告しているから |
| 2. ご自身と共同経営者とが、それぞれ各種免許や資格等(営業免許、許可や税理士の資格等)を持って事業に従事しているから |
| 3. ご自身と共同経営者とが、共同名義で事業資金の借入れを行っているから |
| 4. ご自身と共同経営者とが、それぞれ自分の名義で同一の事業に必要な資金の借入れを行っているから |
| 5. ご自身の名義で事業資金の借入れを行っているが、共同経営者が連帯保証をしているから |
| 6. ご自身と共同経営者とが共同で取引(仕入れ等)を行っているから |
| 7. 別の事務所や支店の経営を任せているから |
| 8. その他(具体的に) |

Ⅳ. お客様ご自身の事業承継についてお伺いします

(問 13 は、全員の方にお伺いします。)

問13. お客様が営んでいる主たる事業は、先代から承継した事業ですか、それともご自身で起こした事業ですか。以下よりお答え下さい(○は1つ)。

- | | |
|---------------------------------|-----------------------|
| 1. 先代から承継した事業(現在____代目) ⇒問 14 へ | 2. ご自身で起こした事業 ⇒問 23 へ |
|---------------------------------|-----------------------|

問14. 問 13 で「1. 先代から承継した事業」と答えた方にお伺いします。

先代から見て、お客様と先代はどのような関係(続柄)ですか。以下よりお答え下さい(○は1つ)。

- | | |
|---------------|-----------------------|
| 1. 配偶者 | 4. その他の親族(具体的に:) |
| 2. 実の子供 | 5. 先代の事業の従業員(血縁関係はない) |
| 3. 娘婿、ご子息の配偶者 | 6. その他(具体的に:) |

問15. お客様は何をきっかけとして、先代の事業を承継する後継者であると認識しましたか。当てはまるもの全てをお答え下さい(複数選択可)。

- | | |
|------------------------------------|---|
| 1. 先代に自分以外の子供がいなかったこと | 7. 先代の相続の発生 |
| 2. 先代から自分が後継者であると指名されたこと | 8. 事業のために個人資産を担保として提供したこと |
| 3. 先代の事業を多少なりとも手伝うようになったこと | 9. 事業目的の借入れの保証人になったこと |
| 4. 他の働き先をやめ、今の事業に専ら従事するようになったこと | 10. 先代の事業に関わる各種免許や資格等(営業免許、許可や税理士の資格等)を取得したこと |
| 5. 先代の事業の従業員として働きはじめたこと | 11. その他 () |
| 6. 先代の存命中に事業用の土地や建物を贈与又は譲渡してもらったこと | |

問16. お客様が先代の後継者として認識した後から実際の承継まで、どの程度の期間事業に従事しましたか。以下よりお答え下さい(○は1つ)。

- | | |
|------------|---|
| 1. 1～5年 | 4. 15年～20年 |
| 2. 6～10年 | 5. 21年以上～ |
| 3. 11年～15年 | 6. 後継者としての従事期間はなかった(先代から承継してから初めて事業に従事した) |

問17. お客様の事業承継の経験を振り返って、どのような行為をもって先代からの事業承継が完了したと考えましたか。当てはまるもの全てをお答え下さい(複数回答可)。

- | |
|--|
| 1. 先代が廃業届を提出し、ご自身の開業届を提出すること |
| 2. 各種免許等(営業免許、許可等)の取得又は名義をご自身に変更すること |
| 3. 主な事業用資産(事業所がある土地の所有権等)を先代よりご自身が取得すること |
| 4. ご自身が事業のために個人資産を担保として提供すること |
| 5. ご自身が事業目的の借入れの保証人になること |
| 6. 先代の財産の相続 |
| 7. その他 () |

問18. 事業承継に際して、事業用の土地や建物の所有権の名義の書換えを行ったのはどの段階ですか。当てはまるもの全てをお答え下さい(複数回答可)。

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 先代の廃業届及びご自身の開業届を提出した段階 |
| 2. 各種免許等(営業免許、許可等)の名義の書き換えを行った段階 |
| 3. 事業のために個人資産を担保として提供した段階 |
| 4. 事業目的の借入れの保証人になった段階 |
| 5. 先代が死亡した段階(相続・遺贈により財産を受け継いだケース) |
| 6. 事業用の資産といえるような資産は特にない |
| 7. 未だ先代の名義のままである |
| 8. その他 () |

問19. 先代から事業を承継した時期はいつですか。以下よりお答え下さい(○は1つ)。

1. 先代の存命中に事業を承継した ⇒問 19-1へ 2. 先代の相続発生により事業を承継した ⇒問 20へ

問19-1. 問 19 で「1. 先代の存命中に事業を承継した」と答えた方にお伺いします。

先代から事業に関する遺産を相続しましたか。以下よりお答え下さい(○は1つ)。

1. 事業に関する遺産を相続した ⇒問 20へ
2. 事業に関する遺産は相続していない(存命中も含む) ⇒問 23へ

問20. 問 19 で「2. 先代の相続発生により事業を承継した」あるいは問 19-1 で「1. 事業に関する遺産を相続した」と答えた方にお伺いします。

事業の後継者であるお客様以外に、先代の遺産を相続した方(相続人)はいましたか。当てはまるもの全てをお答え下さい(複数回答可)。

1. ご自身の父母も相続人であった ⇒問 21へ
2. ご自身の兄弟も相続人であった ⇒問 21へ
3. 父母・兄弟以外にも相続人がいた() ⇒問 21へ
4. 相続人は自分だけだった ⇒問 22へ

問21. 問 20 で「4. 相続人は自分だけだった」と答えた方以外の方にお伺いします。

お客様と他の相続人はどのように先代の財産を分割しましたか。以下よりお答え下さい(○は1つ)。

1. ご自身が、先代経営者の全ての財産を相続した
2. ご自身が事業用資産を相続し、他の相続人が事業用資産以外の財産を相続した
3. 事業用資産についても、一部を他の相続人が相続した
4. その他()

問22. お客様は先代からの相続によって、事業の運転資金に充当するために必要十分な現預金等を確保することができましたか。以下よりお答え下さい(○は1つ)

1. 相続した現預金等で必要資金を確保することができた ⇒問 23へ
2. 相続した現預金等だけでは必要資金を確保するに至らなかった ⇒問 22-1へ

問22-1. 問 22 で「2. 相続した現預金だけでは必要資金を確保するに至らなかった」と答えた方にお伺いします。事業の承継に当たり、不足した現預金等の手当てを具体的にどうしましたか。当てはまるもの全てをお答え下さい(複数回答可)

1. 自分の預貯金を事業用資金に充当した
2. 金融機関から借り入れた
3. 知人などから借り入れた
4. 資金に見合った規模になるように事業を縮小した
5. その他()

V. 後継者への事業承継についてお伺いします

(問23は、全員の方にお伺いします。)

問23. 現在の事業(主たる事業)について、後継者への事業承継を考えていますか。以下よりお答え下さい(○は1つ)。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 承継を考えている ⇒問24へ | 2. 承継は考えていない ⇒問27へ |
|-------------------|--------------------|

問24. 問23で「1. 承継を考えている」と答えた方にお伺いします。

お客様の事業を承継する後継者を、どのようにして確定されますか(確定されましたか)。当てはまるもの全てをお答え下さい(複数回答可)。

- | |
|---|
| 1. ご自身が後継者の指名を行うこと
2. 後継者本人が、後継者となることに了承すること
3. 副業のような形でも、後継者をご自身の事業に従事すること
4. 後継者が、ご自身の事業に専従すること(他に副業を行っていないこと)
5. 主な事業用資産(土地、建物)を後継者に移転させること
6. 後継者が、事業のために個人資産を担保として提供すること
7. 後継者が、事業目的の借入れの保証人になること
8. 事業に関わる各種免許や資格等(営業免許、許可や税理士の資格等)を取得すること
9. その他() |
|---|

問25. どのような行為をもって、後継者への事業承継が完了したと考えますか。当てはまるもの全てをお答え下さい(複数回答可)。

- | |
|--|
| 1. 後継者の開業届及びご自身の廃業届を提出すること
2. 後継者が、各種免許等(営業免許、許可等)を取得又は名義の変更を行うこと
3. 取引口座の名義を後継者に変更すること
4. 主な事業用資産(事業所がある土地の所有権の所有権等)を後継者が取得すること
5. 後継者が、事業のために個人資産を担保として提供すること
6. 後継者が、事業目的の借り入れの保証人となること
7. その他() |
|--|

問26. 後継者(候補)はお客様のご家族内にいますか。以下よりお答え下さい(○は1つ)

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 1. 家族内に後継者(候補)がいる ⇒問26-1へ | 2. 家族内に後継者(候補)はいない ⇒問27へ |
|---------------------------|--------------------------|

問26-1. お客様は後継者に対し、事業の運転資金に充てることができる現預金等を十分に相続させる予定ですか。以下よりお答え下さい(○は1つ)

- | | |
|-----------------------|----------------------------|
| 1. 十分な現預金等を相続させる予定である | 2. 十分な現預金等を相続させることができないと思う |
|-----------------------|----------------------------|

VI. 小規模企業共済制度についてお伺いします

(問 27 は、全員の方にお伺いします。)

問27. お客様が小規模企業共済制度に加入した理由は何ですか。当てはまるもの全てをお答え下さい(複数回答可)。

1. 税制上のメリット(掛け金の所得控除等)がある積立制度だから
2. 退職金代わりになるから
3. 低利の融資制度である、共済契約者貸付制度を利用することができるようになるから
4. 公的制度で安心だから
5. その他 ()

問28. 現行の小規模企業共済制度は、個人事業主については事業主本人しか加入することができない制度ですが、お客様の後継者も加入できるとしたら、後継者に対して加入をすすめますか。以下よりお答え下さい(○は 1 つ)。

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 加入をすすめる ⇒問 28-1 へ | 3. わからない ⇒問 29 へ |
| 2. 加入をすすめない ⇒問 28-2 へ | 4. 自分には後継者はいない ⇒問 29 へ |

問28-1. 問 28 で「1. 加入をすすめる」と答えた方にお伺いします。

後継者に対して小規模企業共済制度への加入をすすめる理由は何ですか。当てはまるもの全てをお答え下さい(複数回答可)。

1. 税制上のメリット(掛け金の所得控除等)がある積立制度だから
2. 後継者の段階から加入することで、より長期に渡って積み立てることが可能となり、掛金の総額を増やして将来多額の共済金を受け取ることができるから
3. 事業承継時に、低利の融資制度である共済契約者貸付制度を利用することができるようになるから
4. 公的制度で安心だから
5. その他 ()

回答後⇒問 29 へ

問28-2. 問 28 で「2. 加入をすすめない」と答えた方にお伺いします。

後継者に対して小規模企業共済制度への加入をすすめない理由は何ですか。当てはまるもの全てをお答え下さい(複数回答可)。

1. 受取共済金額が少なく、制度として魅力がないから
2. 税制上のメリットについて魅力を感じないから
3. 後継者が事業を承継しない可能性が否定できないから
4. 事業承継を行った後に加入すれば十分だから
5. 後継者が自分で引退後の資金の手当てを行うことができると思われるから
6. 制度の将来に不安を感じるから
7. 後継者は掛金を納付するだけの余裕は持てないと思われるから
8. その他 ()

問29. 後日、本調査にご協力いただいた方の中から何名かの方に連絡を取らせていただき、インタビュー形式で詳しくお話をお伺いしたいと考えております。インタビューの可否、およびご協力頂ける場合には、ご連絡先をご記入頂ければ幸いです。

①インタビューの可否	1. インタビューを受けてもよい 2. インタビューは受けたくない
②電話番号・FAX	電話番号： _____ (_____) F A X： _____ (_____)
③Eメール	_____

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。